

# 次回予告

大黒屋サロンコンサート  
2018年3月



蓄音機のロールスロイス  
EMG MarkⅨを鳴らして

## 特集：『SP 盤で聴く歌謡曲』 ～鶴田浩二 と フランク永井～



### ・ 解説：勝原良太氏

- ・ 日時：2018年3月24日（土） 午後2時開演（開場1時）
- ・ 参加費：1,000円（定員60名 飲み物・おつまみ付 自由席）
  - 1:00～2:00 音楽アラカルト
  - 2:00～3:30 \* 特集：歌謡曲 ～鶴田浩二とフランク永井～
  - 3:30～4:00 休憩
  - 4:00～4:30 クラシック
  - 4:30～5:00 音楽アラカルト

### ●戦後の都会派歌謡：鶴田浩二とフランク永井について

俳優の鶴田浩二は、昭和20年代の末頃から「町のサンドイッチマン」「赤と黒のブルース」「好きだった」という都会派歌謡のヒット曲を連発しました。

そして、30年代に入ると「東京午前三時」「有楽町で逢いましょう」「西銀座駅前」という更にモダンな都会派歌謡でフランク永井が登場します。

今回は、彼ら二人の歌手に焦点を当て、作曲家の吉田正、作詞家の宮川哲夫・佐伯孝夫も含めて、当時の歌謡曲の魅力を解説したいと思います。

多数の参加をお待ちします。

\* SPレコード提供協力 岩田国保・勝原良太

## ●使用蓄音機：EMG Mark IX（マーク・ナイン）



長い間あこがれだったこの蓄音機をついに入手しました。

その鳴らしはじめが今回の大黒屋サロンです。ぜひ、ご参加ください。

勝原

### 最高級蓄音機 EMG Mark IX について

今回のコンサートで使用する蓄音機 EMG Mark IX（マーク・ナイン）は、「蓄音機界のロールスロイス」と言われる最高級の蓄音機です。この蓄音機は、昨年11月4日（日）に電気文化会館で鳴らして皆さんに聴いていただきました。その素晴らしい音色に、おそらく参加された皆さんは驚かれたことと思います。

写真でご覧になればお分かりのように、巨大なラッパ型のホーン（直径約58cm）がまず目を引きまします。このホーンから流れ出るサウンドは、とても蓄音機のものとは思われません。まるで極上のワインを舌の上で転がしているかのようで、シャープでありヴィヴィッドであり、かつふくよかで丸みがあります。何といてもSP（78回転）レコードが持つ、録音時の微妙な空気感が聞くものに伝わってきます。

最近、特に若い人の間でレコードが再評価されているようです。CDやダウンロードされた音は大変美しいとは言え、あまりにも美しく、時に美しすぎて、その反動として人間的な温かさ・手作りの味わいを感じさせてくれるレコードに、現代の若者は新鮮な驚きを感じたのではないのでしょうか。今はまだLPレコードに人気集中しているようですが、やがてSPレコードに関心を持つ人々が現れてくれることを期待しています。この現象が単なるブームに終わることなく定着することを願っている次第です。

# なごや蓄音機クラブ

TEL 090-3855-1200 (勝原)



\*今後の活動情報は『なごや蓄音機クラブ』HPをご覧ください。